



年頭のご挨拶

参議院議員・薬剤師 本田 顕子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
会員の皆様におかれましては、穏やかに新たな年を迎えられたことと存じます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止と必要な医療提供体制の確保が求められる「特別な期間」を乗り越えた年となりました。社会全体が公衆衛生の大切さを理解し協力しあい、医療を現場で支える会員の皆様が感染防止に注意を払いつつ新型コロナ対策の徹底にご尽力され、地域の皆様の命とくらしを守ってこられましたことに敬意と感謝を申し上げます。

4月から第8次医療計画がスタートします。

地域医療を支える薬剤師が5疾病6事業および在宅医療において、専門性を生かし職能を遺憾なく発揮する大きなチャンスです。今般の第8次では、人口減少・高齢化が進展していることを念頭に置きつつ、医療ニーズの質・量の変化に対応した必要な医療提供体制を維持する観点で、いかに医療人材を確保できるかが重要になってまいります。人材の確保・養成は一日にして成るものではありませんので、関係団体が一体となって各自治体の薬務主管課と医務主管課と継続的に協働を続け、地域医療を支える薬剤師の確保につなげてまいりましょう。

また、医療DXの推進も求められております。昨年成立した令和5年度補正予算などを活用しつつ、電子処方箋の機能拡充と活用が進展することを願っております。

医薬品の供給不足に関しまして会員の皆様にご負担とご心配をおかけしているところで、令和5年度補正予算において医療上必要性の高い医薬品の増産支援などが行われ、年末にとりまとめられた薬価改定の骨子においても不採算品目への一定の対応がなされましたが、産業構造上の対応策を含め供給安定化に向けて引き続き力を尽くしてまいります。

昨年10月から文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官を拝命し、「科学技術・学術」と「文化」を担当しております。文部科学行政は薬学とも関係が深い分野ですので、アカデミアや研究機関などによる基礎研究を後押しし、創薬やイノベーションの推進にも励んでまいります。そして、これまで私が注力してきた薬剤師や薬業などに関する課題と信念に基づく政治活動についても変わらず続け、薬剤師の皆様が夢や希望を持ち、それらを実現できる社会づくりにつなげてまいります。

本年も変わらぬご指導をよろしくお願い申し上げます。

会員の皆様にとりまして本年が実り多き一年となりますことをお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。

それぞれの 人等にとって 聞く力 為すべき課題 我が国家論
(2022年 詠み人 本田顕子)